



もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にこよう!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com/



11
霜月

NO 316 / 2023

安全を第一に、
楽しく!
できる時に
できることを!

contents

- ★11月例会案内〈11月19日〉
第3日曜「黄金山」見晴らし整備
..... 2
- ★9月例会報告
「河平連山登山道整備」
..... 3
- ★里山部会報告 : 岩田
- ★クラフト部会報告 : 岩田
..... 4
- ★もりメイトキッズが開催されるまで
..... 5
- ★もりメイト啓発シリーズ
森から防災 : 佐藤
- ★メール便 : かおりん
..... 6
- ★笑顔咲く森林カルチャー : 山本
- ★今月のひと枝 : シロバナサクラタデ
..... 7
- 11月・各部会の活動案内他
..... 8



河平連山登山道整備。頂上の見晴らしを取り戻しました。活躍！女子チーム P3 にて

私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆イオンスタイル広島府中・マックスバリュウ西風新都店
(イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン)

《ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略》

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり : 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く : 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ : 人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える : 恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。
広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、
全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。

案内



11月例会

「黄金山」見晴らしを取り戻そう! 《担当: 1班》

※
【黄金山山頂エリア活性化推進協議会】との協働作業
地元の方々と、見晴らしをよくする為の整備を行います。

◆日 時: 11月19日(第3日曜) 9時~15時 少雨決行

※担当班のメンバー&リーダーは8時までに現場へ集合して下さい。

◆会 場: 【黄金山山頂】

《駐車台数が限られています。連絡を取り合い、出来るだけ乗り合わせて
ご参加ください。尚、当日は、駐車係員の誘導に従って駐車してください。》

◆持参物: 山の道具・水筒 《名札も忘れずに》

※ 準備出来る方は鎌、チェーンソーとチャプス(チェーンソー保護服)、スパイク付き地下足袋等、
安全に作業できる服装をご持参下さい。

※ 当日、弁当は要りません。「ホルモン汁とおむすび」を、地元の皆さんが準備して下さいます。

◆申込み: 11月11日(土)

※ 各メンバーは、班長へ電話かメールで連絡してください。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ電話かメールでご連絡下さい

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

もりメイト倶楽部 Hiroshima は、2008年3月から黄金山を整備する活動に関わっています。これまでに行なったさまざまな活動は、20数回に及びます。今回の作業は、昨年引き続き、見晴しが望めず『ぜひ整備を手伝って欲しい』との地元からの要請を受け、周辺木によって生育が妨げられている山頂付近の整備を行います。今後も、地域と共に、環境保全、眺望改善、地域の活性化につながる活動を、地域貢献活動として展開していきたいと思っております。伐った後の処理にもたくさんの手が必要です。皆さん、奮ってご参加下さい。

■【黄金山山頂エリア活性化推進協議会】は、大河、黄金山、仁保、楠那の4つの学区の社会福祉協議会等で構成されており、広島市街を眺望できる黄金山の山頂エリアを、魅力的な観光資源として活性化し再整備するための取組を行っています。】



~~写真は、昨年の活動から~~

12月の例会は毎年休会しております。来年もまた、さらにフレッシュな気持ちでスタートしましょう。



9月
例会

～地元の大切な山～
「飛行機山」河平連山登山道整備 9月24日(日)開催
参加 30名(育成講座受講者2名含む) 4班 富田 実



松ヶ原集会所の前にて。整備達成度100%！おつかれさまでした。



山頂整備。見晴らしがグンと良くなりました。

9月中旬を過ぎても猛暑が続いて心配しましたが、前々日からの雨で暑さが和らぎ、気持ちの良い晴れの日を迎えました。松ヶ原集会所に集合し、朝のミーティングにて、整備目的や諸注意事項を確認、安全作業を念頭に現地の河平連山に移動しました。

A・B班のエリアは、アカマツの枯損木が点在し、枯れ枝の落下や幹が倒れて道をふさぐなどの危険が潜む状況で、該当する25～30本余りの木を伐倒する事を目標として作業を行いました。両班共に、経験者と若手が組んで、松の枯損木伐倒の危険度や難しさ、ロープで引く際の注意事項など、経験者からレクチャーを受けながら、チェーンソーで伐倒。後に、伐倒作業の方法など学べ、得る事が多かったとの声も聞かれ、有意義な研修の場ともなりました。

C班は、笹類が道沿いを覆い登山者の妨げになる場所を、刈払い機2台

で処理。手鎌やノコでの作業も想定して準備しましたが使用することなく、刈払い機の活躍でお昼前にはエリア全体の草刈り終了。登山者にも喜んでいただける登山道に改善されました。

D班は、山本理事長をリーダーとし、登山経験者を中心に女性7名とプラス黒一点こくいつてんによる構成。登山を思わせるほどのハードな場の景観改善に挑戦しました。ここでは、兼ねてから地元の方から山頂付近の景観が悪く何とかならないかと相談されていた案件、急峻な難コース女性7名編成では負担がかかり過ぎではと案じましたが、なんのその、色々な樹木の話しを交しながら楽しく目的地に到着。6号峰～7号峰（三県が見渡せる場所）を中心に整備し、眺望改善ができました。それには、黒一点？の働きがあり助かりましたとの報告。「黒一点Sさん良かったですネ？」



急峻な山道を上ること40分。ファイト～

終了時のふりかえりでは、各班とも整備達成度は100%！！事故無しとの報告。倶楽部員それぞれから「学ぶことが多かった」「達成感があった」などの言葉が聞かれ、充実した例会となり安堵。

最後に、地元の中本会長から感謝のお言葉や飲物の提供をいただきました。ありがとうございました。



可憐に咲くママコナ



つわもの女子チームと黒一点。



先輩の指導で、色々学んでいます。



安全にしっかり注意を払って。



10月に入り、気温が下がり過ごしやすい季節となり、秋祭りの幟があちらこちらに立ち、秋らしい季節になりました。そんな中、10月8日(日)小川フィールドで里山部会を開催しました。

作業内容は、竹林整備・物置小屋の整理・フィールド内環境整備を行い、11名が参加しました。

9時にミーティング。作業の際の注意事項の説明を行い、小川フィールド近くの竹林に移動し、6名で、境界線の確認を行い作業に取り掛かりました。茶色に変色し古く、枯れている竹から倒して棚積み、その後は、マニュアル通り竹林で傘をさして歩ける程度にまで整備を進めました。その後、竹を小川フィールドに運搬し、鋸で切断、鉋で小口に割り、コンテナ2箱分作りました。今後、竹の乾燥状態(ここが肝心)を見極めながら、来年1月に釜入れ、2月に火入れを計画しています。また、物置小屋は、いらぬものや古い物を整理しスッキリしました。佐藤さんから、シシトウのお土産をいただき15時に終了。帰路につきました。

次回は、11月12日(日)スクウスクウの森にて、薪割り及び、10月例会の後作業を行います。



ノコで竹を切断中。



ナタで竹を割る北田正子さん



竹を運ぶ原島さん



遅くなりましたが、やっと部会報告の原稿依頼が回って来ました。

本年度から原稿は輪番制にして皆が交代で書くようにしています。

改めてご挨拶させていただきます。本年度からクラフト部会長を務めさせていただきます岩田です。今後ともよろしくお願いいたします。

10月に入り、秋を飛ばして冬の装いかと思われるほど朝晩の冷え込みが体にこたえ、体調管理に一層気を付ける季節になりました。

さて、秋は行事が目白押し。クラフト部会活躍のシーズンでもあります。まず、9月28日(木)にスクウスクウの森で志和小学校、10月5日

(木)は向原町穂垣で向原小学校の「太田川流域学校自然体験事業」がありました。10月9日(月)広島テレビ主催、「塚ちゃんの森から防災in尾長」、10月15日(日)は古市公民館「おもちゃの広場」。同日、森林公園でビルメンテナンス協会のイベントでクラフト指導と、たくさんの活動が続きました。

一方で山本鹿ヶ谷ベースでは、クラフト部会の心臓、なくてはならない部材製作部隊が、毎週土曜日にコツコツとパーツ作りに励んでいます。これから迎える11月3日の森林公園「もりの市」、11月5日の「秋のグリーンフェア」に向けてパーツ

作りに一層拍車がかかりラストスパート。12月中旬に開催の、ドイツクリスマスマーケットまで作業が続きます。

手先が器用な方、また、そうでない方も、一度、山本鹿ヶ谷ベースに来て体験してみてください。ベテランぞろいで、作業をしながら色々な経験談を聞くことができます。

10月の参加者28名。



来年の干支「龍」



半割椅子パーツを作る高杉さん



作業風景。丁寧に心込めて。末本さん



干支の頭をバンドソーで加工中。原島さん



「もりメイトキッズ」が開催されるまで。

今年の「もりメイトキッズ」のキャッチフレーズは{(もり) いきもののハーモニー}。『森に住む動植物と人が共存するために大切なことを、自然体験活動を通して一緒に考えてみませんか』をテーマとして、4月、7月に行ってきました。そして、11月5日(日)に今年度最後の「もりメイトキッズ」の開催を迎えます。ここに至るまでに、スタッフは案を持ち寄り、子ども達に何を伝え、どのように自然を体験させていくか、何度もミーティングを重ねてきました。未来を担う子ども達のために、私たちが出来る事は何か模索し、「楽しさは学ぶ力」になることを信じて、たくさんの方が考え知恵を出し合い動いて準備をしています。

例会も部会も同じです。ひとつの行事を行うために、たくさんの方の手が差し伸べられている事、それによって支えられていることを是非覚えて、これからもどしどし参加して頂ければと思います。

2023年 part1・2 もりメイトキッズアルバム



そして迎える第3回:テーマは鳥

事前準備をしています。



鬱蒼としたフィールドを整備中。何とか歩けるまでに。



この木に
巣箱設置



安全第一。シーソーは一時休憩。廃材は杭に変身。

もりメイトキッズ3回目に向けて、駐車場やAフィールド入口付近の見事に伸びた草を刈り、歩くのも困難なぐらい荒れてしまったフィールドの雑木等を、歩道がみえるまでに整備を行いました。シーソーは、材が腐っていたので廃棄することになりました。今後はもりメイトキッズの活動も含め徐々に整備を行い、鳥や虫が集まるフィールドにし、間伐材を利用した遊具の製作、山小屋の看板の製作等々、活発に活動していきたいと思っています。会員の方で興味のある方は、お気軽に佐々木まで連絡下さい。一緒に楽しく活動しましょう。

連絡先：mamakin0404@yahoo.co.jp (佐々木)



もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【森づくり啓発シリーズ】
～こんな事にも関わっています～



広島テレビ開局 60 年企画「いま動こう！みんなで防災 PROJECT」の一環として今年も尾長山（尾長天満宮鎮守の森）で親子での森林保全体験が実施されました。本プロジェクトは「森林の保全」が「事前防災」につながる重要な要素であると捉え、広島テレビより依頼を受け「広テレ気象キャスター・塚原美緒気象予報士、塚ちゃんと一緒に森から防災を学ぼう」に、もりメイト倶楽部 8 名の指導員が協働しました。

森から防災教室 in 尾長「広島テレビ主催」

「もりメイト倶楽部 Hiroshima」体験指導を行いました

4 班 佐藤 謙治



元気な意気込み「おーっ!」。参加の子ども達親子

がんばりました。みんなで伐った木を前にパチリ。

恐竜を作ったよ。

10月9日（祝・月）。当日は曇りで少し肌寒く秋を感じさせる天候の中、広島テレビスタッフ、保護者と子供 23 組（46 名）の皆さんが、森についての学習、間伐体験、木工クラフトを通して『森の防災』について学びました。

まず、主催者挨拶後、塚原気象予報士より『地球温暖化による災害、防災観点での森の役割』についてクイズを交えての学習会。次に、山本理事長から『森は宝物である。生活に欠かせない森を整備する重要性』についての講義を受け、森に入るときの手順、注意点の説明を受けた後、参加者全員で「元気な意気込み」を写真に収め意気揚々と、7 班に分かれ尾長神社鎮守の森整備体験に入りました。間伐の手順（受け口・追い口の入れ方）、伐

倒の注意点などの指導を行い、参加者全員ケガもなく間伐体験をして頂き、指導員として微力ながら「広島テレビ主催」の森から防災への取り組みに関われた事、嬉しく思っております。

昼からは当倶楽部のクラフト部会が間伐材で加工・製作した材料にて、太古の森の生き物「恐竜」の製作を体験し、森との関わりをさらに深めて頂いた一日となった事と思います。

解散後、班ごとの指導の振り返りを行い、伐倒の指導方法、森林整備の意義の伝達手法、安全作業の改善点など、指導員のスキル UP と今後の活動に役立てるよう倶楽部として共有していくことを話し合い解散しました。

これからも未来を担う子供たちや一般の人たちに森づくりの大切さを伝え「もりメイト倶楽部 Hiroshima」の仲間と啓発に携わりたいと思える楽しい一日でした。

スタッフ：山本理事長、見勢井顧問、砂原、北田、佐藤、岩田、富田、山本(薫)

～参加者の感想から～

「ノコの使い方が難しい」「木を切ることがこんなに大変だと思わなかった」「参加者全員でのロープ補助など力を合わせ連体感が湧いた」「森が明るくなり気持ちが良い」「森が災害を防ぐことに役立っている。大切にしたい」



愛媛県の石鎚山系の山を歩いてきました。ふと見つけた・・漢字の「木」に似ている「木」。芽生えてからやがて朽ちても・・なお・・木。



無骨な勇姿に惚れ惚れしました。強い意志があり立っている木。立ち枯れ木だからとむやみに手を出さずに・・。自然に抗うと「木のき」は「危のき」になるなあ・・と思ったのです。

= 自然界の中で木々が我々に伝えてくれているメッセージかな? って。 =

(かおりん)



一生懸命に作った作品を手に。



「みて〜」あふれる笑顔！



山本薫研修生。切り方指導に奮闘中。

公益社団法人広島県貯水槽管理協会主催の「森林カルチャー」は毎年、協会に関わる多くの家族が楽しみにして参加されていましたが、コロナ禍で2020年から昨年まで中断を余儀なくされ、今年度やっと10月15日（日）に再開されました。

この事業は本会に相談があり、「『水』を扱う企業の社会貢献として森を舞台に活動したい」という要望を受け、山本がプログラムを企画提案して始まり、10年以上関わっています。今回からは大竹市栗谷から広島市森林公園に場所を変えて実施することになり、初参加の人と常連の人が約50名参加。森林整備は遊歩道沿いの樹木の剪定や除伐を小さな子供も一生懸命にノコギリを引き、親子で楽しく汗を掻いてもらいました。昼食は恒例のバー

ベキューで皆さん交流を満喫される中、お腹いっぱいになった子どもたちはお待ちかねの木工クラフトを体験。今回のテーマは「恐竜」。来年の干支にもなる個性ある作品が出来上がり！待ちわびたイベントは無事に成功裏に終わり、役員の皆さんは安堵の充実感に浸っておられる様子でした。何度も感謝のお言葉をいただきました。講師は当初から関わる見勢井顧問、富田そして研修生として抜擢した山本薫の4人で対応しました。



恐竜クラフト勢ぞろい



わが子に切り方を教えるお父さん

白ひらき

原田 澄



シロバナサクラダテ (白花桜蓼)

<タデ科 イヌタデ属>

湿地に生える高さ0.3~1mの多年草。茎はまっすぐに伸びよく分枝する。葉は互生し長さ7~16mmの披針形で、先が尖り基部はくさび形でやや厚みがある。花は8月~11月。サクラダテによく似ているが、花被は白色で3~4mmとサクラダテより小さく、穂状に長く垂れ下がる。名は生態や花姿がサクラダテによく似ており花が白いことから。・・・▼友人が大切に育てているシロバナサクラダテ。しとやかに俯き楚々とした姿がとても美しい。▼初秋から晩秋へと移ろうこの季節、ひっそりと咲くミズヒキソウ、賑やかなイヌタデ、シロバナサクラダテ等々、肩寄せ合って咲くタデ科の仲間たちは素敵に映える。▼そして、絶えることのない暗いニュースが日々暮らしを覆う今、花を愛でる事の出来る幸せを思う。祈・平和。 ~湯来町 2023・10~



—11月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

■ 11月26日(日)9:00～

松ヶ原キッズフィールド整備を行います。
もりメイトキッズが終了し、反省会を兼ねて
フィールド整備を行いたいと思います。
ご都合のつく方はご参加下さい。

■ 連絡先：佐々木

mamakin0404@yahoo.co.jp

環研
部会

～自家木工・クラフト製作～
自由に参加お待ちしております～

■ 11月は4日・11日・25日の土曜日

山本鹿ヶ谷基地で活動します。

連絡先：岩田 080-5751-3798

クラフト
部会

「およせください」メール便！

もりの手紙はたくさんの方々の投稿をお待ちしています。つぶやき、季節の話題、なんでもどうぞ。お気軽にハンドルネームで！

tegami@morimate-ch.com

「ひろしまドイツクリスマスマーケット」がクラウドファンディングを始めました。ご縁があり、当初からもりメイト倶楽部も、応援しています。1,000円から支援できます。詳しくは下記のHPをご覧ください。よろしくお祈りいたします。
<https://camp-fire.jp/projects/view/707290>

■ 日時：11月12日(日)9:00～15:00

■ 場所：スクウスクウの森

～安佐北区白木町秋山 1479～

■ 作業：薪割り他

■ 持参品：水筒・弁当・山の道具

■ 連絡先：北田 090-4899-9629

里山部会

12月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

■ 日時：11月29日(水)18:00～



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

【口座名】：トクヒ) モリメイトクラブヒロシマ

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com